

## 筆順の原則 [編集]

「筆順指導の手びき」（1958年（昭和33年））の「4.本書の筆順の原則」から、抜粋・編集した。

- 大原則1……上から下へ

上から下へ（上の部分から下の部分へ）書いていく。



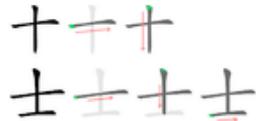
- 大原則2……左から右へ

左から右へ（左の部分から右の部分へ）書いていく。



- 原則1……横画が先

横画と縦画とが交差する場合は、ほとんどの場合、横画を先に書く。〔例外〕原則2の場合



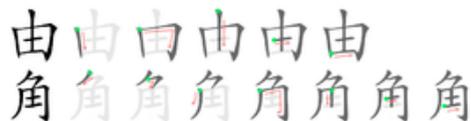
- 原則2……横画が後（原則1の例外）

横画と縦画とが交差したときは、次の場合<sup>[4]</sup>に限って、横画を後に書く。

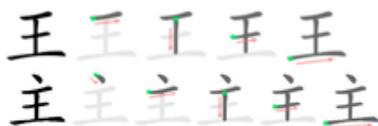
- 田



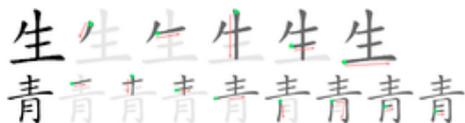
- 田の発展したもの



- 王



- 王の発展したもの



- 原則3……中が先

中と左右があって、左右が1、2画である場合は、中を先に書く。



〔例外〕†（りっしんべん）、火



• 原則4……外側が先

口（くにがまえ）のように囲む形をとるものは、先に書く。

因 因 因 因 因 因 因  
日 日 日 日 日

（注）口（はこがまえ）、口（かくしがまえ）は、次のように書く。

区 区 区 区 区  
医 医 医 医 医 医 医 医

• 原則5……左払いが先

左払いと右払いとが交差する場合は、左払いを先に書く。

文 文 文 文 文  
父 父 父 父 父

• 原則6……貫く縦画は最後

字の全体を貫く縦画は、最後に書く。

中 中 中 中 中  
車 車 車 車 車 車 車 車

• 原則7……貫く横画は最後

字の全体を貫く横画は、最後に書く。

女 女 女 女  
子 子 子 子

〔例外〕世

世 世 世 世 世 世

• 原則8……横画と左払い

横画が長く、左払いが短い字では、左払いを先に書く。

右 右 右 右 右 右

横画が短く、左払いが長い字では、横画を先に書く。

左 左 左 左 左 左  
友 友 友 友 友

• 原則では説明できないもの

- 繞（にょう）には、先に書く繞と、後に書く繞とがある。

繞を先に書く……処、起、勉、題など

繞を後に書く……近、建、直など

- 先に書く左払いと、後に書く左払いとがある。

左払いを先に書く……九、皮、成、及など

左払いを後に書く……力、刀、原、反など